

はなさか 花咲プロジェクト第1弾

岩手県建築士会女性委員会

被災地復興の過程において、私たち女性建築士は住環境を整えていく手助けをしていきたいと考えています。瓦礫が取り除かれ色彩を失った場所に、花や木を植えることで、地域も、そこに暮らす人も明るさを取り戻し、新しい町並みを再構築する道すがら、わずかでも見えるようになればと思います。

海辺のまちに花の種をまき、苗木を植えよう。今年、来年、そして再来年もずっと。

季節の花に彩られ、木々の緑があふれることで、日常を取り戻す一歩となりますように。

そんな願いをこめて

日時：2011年6月25日（土）10：00～12：00

場所：大槌町 吉里吉里中学校仮設住宅

参加者：岩手士会より15名、連合会女性委員長／定行まり子、大学院生／山崎陽菜（記録）（敬称略）
吉里吉里中学校仮設住宅の住民の方々約20人

住民の方々にも参加していただき、一緒に植え付けの作業をやりながら、和やかに話すことができました。仮設住宅の中で独りやることも無く過ごしていたが、水遣りや収穫の楽しみができたと言っていました。



日時：平成23年6月29日（水）13：30～14：00

場所：久慈市 旧長内中学校跡地仮設住宅（15世帯）

参加者：久慈支部より5名、住民の方々3名

天気も良く、住宅にお住まいの被災者の方々も快く迎えてくださり、好きな花を選んだり、プランターを運んでお手伝いして下さいました。逆に、私たちが被災者の皆さんから、元気を頂いたような気がします。

最後に、この趣旨に賛同しご協力頂きました久慈市にも感謝しています。

